



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

会社名 太平化学製品株式会社
 コード番号 4223
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 門田 豊
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 山時 慎一
 親会社名 東ソー株式会社(コード番号:4042) 親会社における当社の議決権所有比率 : 75.93%

グリーンシート銘柄
 URL <http://www.taihei-chemicals.com/>

TEL(048)222-1122

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(注) 本四半期決算短信の数値は、未監査です。

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	3,516	(△7.8)	△19	(-)	△18	(-)	△15	(-)
27年3月期第3四半期	3,815	(1.9)	17	(-)	49	(-)	28	(-)

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △6百万円(-%) 27年3月期第3四半期 44百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	△ 1 27	-
27年3月期第3四半期	2 32	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	7,703	2,953	38.3
27年3月期	7,849	2,979	38.0

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 2,953百万円 27年3月期 2,979百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	0 00	-	2 50	2 50
28年3月期	-	0 00	-		
28年3月期 (予想)				2 50	2 50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	5,000	△4.3	50	△10.6	50	△39.5	10	△52.3	0 81	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期第3Q	12,300,000株	27年3月期	12,300,000株
28年3月期第3Q	9,062株	27年3月期	9,062株
28年3月期第3Q	12,290,938株	27年3月期第3Q	12,291,056株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後の国内外の経済情勢や予測不可能な要素等により、実際の業績は現在予測している数値と大幅に異なる可能性があります。

なお、業績予想に関連する事項は、第3四半期決算短信(添付資料)2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付書類の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. (要約)連結財務諸表等	3
(1) (要約)四半期連結貸借対照表	3
(2) (要約)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(要約)四半期連結損益計算書	5
(要約)四半期連結包括利益計算書	6
(3) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年12月31日)におけるわが国経済は、デフレからの脱却と経済再生及び財政健全化に向けた各種政策の効果により、企業収益の改善、設備投資の増加、個人消費の堅調さや雇用情勢の改善もあり、景気は一部に弱さも見られるものの引き続き緩やかな回復基調が続いています。しかしながら、中国を始めとするアジア新興国等の海外景気の下振れによる我が国の景気下押しリスクがあり、依然として予断を許さない状況が続いています。

このような状況下、当社グループは、新規市場の開拓等行ってきましたが、国内及び海外需要の低迷が影響し、売上高は、3,516百万円、対前年同期比298百万円(同△7.8%)の減収となりました。

一方、利益面につきましては、引き続き経費削減に努めているものの売上高の減少が影響し、営業損失は19百万円、対前年同期比36百万円、経常損失は18百万円、対前年同期比67百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は15百万円、対前年同期比44百万円の減益となりました。

セグメント別では、合成樹脂事業は水処理分野等の工業用部材が低調に推移したことから、売上高は2,215百万円、対前年同期比198百万円(同△8.2%)の減収となりましたが、引き続きのコスト削減が奏功し、セグメント利益は前期に比べ50百万円増加し123百万円(同68.3%)となりました。一方、化成品事業は主力のコンパウンド製品の販売が低調に推移したことから、売上高は1,300百万円、対前年同期比99百万円(同△7.1%)の減収、セグメント利益は232百万円、対前年同期比43百万円(同△15.8%)の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、主に受取手形・売掛金の減少及び棚卸資産の増加の結果、前連結会計年度末と比較して145百万円減少し、7,703百万円となりました。

負債は、主に支払手形及び買掛金が減少した結果、前連結会計年度末と比較して119百万円減少し、4,750百万円となりました。

純資産は、主に当四半期純損失や配当金の支払いにより、前連結会計年度末と比較して25百万円減少し2,953百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策効果もあり、景気は引き続き緩やかに回復していくことが見込まれます。

こうした環境下、当社を取り巻く市場環境は依然として厳しい状況が続いているものの、安定供給の継続や新規案件の早期実商化、新規顧客獲得による拡販、引き続きのコスト削減を行うことにより、収益を確保する見込みです。

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、本日(平成28年2月5日)公表いたしました「業績予想の修正(連結及び個別)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、泰賀(上海)貿易有限公司を連結決算上の重要性が増したことを考慮して、連結の範囲に含めております

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実行税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実行税率を使用して計算した結果を計上しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. (要約) 連結財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度末 (平成27年3月31日)	当第3四半期末 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	371	355
受取手形及び売掛金	1,836	1,591
商品及び製品	849	1,043
仕掛品	254	255
原材料及び貯蔵品	303	310
繰延税金資産	76	91
その他	72	66
貸倒引当金	△ 1	△ 0
流動資産合計	3,762	3,713
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	285	276
機械装置及び運搬具	417	359
土地	2,757	2,757
リース資産	3	7
建設仮勘定	7	4
その他	16	15
有形固定資産合計	3,488	3,421
無形固定資産		
ソフトウェア	1	1
その他	2	2
無形固定資産合計	4	3
投資その他の資産		
投資有価証券	195	201
関係会社株式	30	-
繰延税金資産	342	343
その他	24	20
投資その他の資産合計	593	565
固定資産合計	4,086	3,990
資産合計	7,849	7,703

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (平成27年3月31日)	当第3四半期末 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,179	999
短期借入金	2,400	2,600
1年以内に返済予定の長期借入金	106	-
リース債務	1	2
未払金	140	146
未払法人税等	18	0
未払消費税等	35	23
未払費用	35	46
賞与引当金	87	55
設備支払手形	40	25
その他	5	16
流動負債合計	4,050	3,916
固定負債		
リース債務	1	5
退職給付に係る負債	711	724
役員退職慰労引当金	31	38
長期預り保証金	55	57
その他	19	7
固定負債合計	819	833
負債合計	4,869	4,750
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,222	1,222
資本剰余金	958	958
利益剰余金	816	781
自己株式	△ 0	△ 0
株主資本合計	2,997	2,961
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△ 17	△ 12
為替換算調整勘定	-	3
その他の包括利益累計額合計	△ 17	△ 8
少数株主持分	-	-
純資産合計	2,979	2,953
負債・純資産合計	7,849	7,703

(2) (要約) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(要約) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
売上高	3,815	3,516
売上原価	3,260	2,948
売上総利益	554	568
販売費及び一般管理費	536	587
営業利益又は営業損失(△)	17	△ 19
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	5	5
スクラップ売却益	5	5
為替差益	39	-
環境対策費用戻入益	-	11
その他の収益	10	4
営業外収益合計	60	26
営業外費用		
支払利息	26	20
為替差損	-	4
その他の費用	1	0
営業外費用合計	28	25
経常利益又は経常損失(△)	49	△ 18
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	48	△ 18
法人税等	20	△ 3
四半期純利益又は四半期純損失(△)	28	△ 15
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	28	△ 15

（要約）四半期連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）
四半期純利益又は四半期純損失(△)	28	△ 15
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	5
為替換算調整勘定	-	3
その他の包括利益合計	16	9
四半期包括利益	44	△ 6
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	44	△ 6
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	48	△	18
減価償却費	114		116
売上債権の増減額(△は増加)	△	3	234
たな卸資産の増減額(△は増加)	△	279	△
仕入債務の増減額(△は減少)	250	△	187
法人税等の支払額	△	5	△
法人税等の還付額	0		1
その他	△	1	8
営業活動によるキャッシュ・フロー	124	△	75
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△	90	△
有形固定資産の除却による支出		-	△
その他	△	17	△
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	108	△
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(△は減少)		-	200
長期借入金の純減少額	△	108	△
リース債務の返済による支出	△	1	△
配当金の支払額	△	0	△
その他	△	0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	110	61
現金及び現金同等物に係る換算差額	39		△
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△	53	△
現金及び現金同等物の期首残高	1,069		371
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	-		64
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,015		355

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

1) 前第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年12月31日）

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	合成樹脂 事業	化成品 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	2,414	1,400	3,815	—	3,815
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,414	1,400	3,815	—	3,815
セグメント利益	73	276	349	△ 332	17

(注) セグメント利益調整額△332百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△334百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2) 当第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年12月31日）

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	合成樹脂 事業	化成品 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	2,215	1,300	3,516	—	3,516
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,215	1,300	3,516	—	3,516
セグメント利益	123	232	356	△ 375	△ 19

(注) セグメント利益調整額△375百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△375百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。